

教育民生常任委員会 摘 録

1. 開催日 令和3年12月2日(木) 第2委員会室
2. 出席委員 林高正委員長 宇江田豊彦副委員長 坂本義明 藤木百合子 國利知史 前田智永
3. 欠席委員 なし
4. 事務局職員 丸飯龍太議会議務局主事
5. 説明員 なし
6. 傍聴者 なし
7. 会議に付した事件
 - 1 陳情について(陳情第17号、第19～第22号)
 - 2 所管事務調査について
 - 3 その他

午後0時59分 開 議

○林高正委員長 ただいまから教育民生常任委員会を開会いたします。

1 陳情について(陳情第17号、第19～第22号)

○林高正委員長 本日の協議事項は、1点目、陳情についてということで、陳情第17号、第19号から第22号。まず1点目の陳情第17号、庄原市シルバー人材センターへの支援要望ということで、皆様のお手元にも陳情書の一覧がつづつてあると思いますが、まず1ページ目でございます。寒露の候、貴職におかれましては云々ということで、要は、支援をしてくださいという内容でございます。これは、多分全国一斉に各市町に対して要望活動をされているのだらうという感じを受けました。この取り扱いについて、どのようにさせていただきますでしょうか。副委員長。

○宇江田豊彦副委員長 これは、毎年議会でも受けている要望書です。毎年意見をお伺いしながら、折があるごとに、委員会の委員の中で議論を進めたい。とりわけ課題があるところについては執行者に伝えるということで進めています。例えば、これを意見書にしたりとか、請願にしたりとかいう取り扱いをしたことがないです。委員としてこういう課題を共有するという取り扱いにしたらどうかと思います。

○林高正委員長 ただいま副委員長から、皆さんで課題を共有していくということで、つまるどころ、供覧に付すという形でございます。そういうことでよろしゅうございますか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○林高正委員長 では、そのようにさせていただきます。続いて、陳情第19号、令和4年度庄原市当初予算に係る予算要望について、庄原市社会福祉協議会会長から出されております。社会福祉協議会の諸事業について御支援をいただき感謝申し上げます云々と書いてありますけれども、内容を読んでいただくと、こういう事業をしています、ああいう事業をしております。ですから御協力お願いいたしますという内容であろうかと思っております。この予算要望について、どのようにいたしましょうか。御意見いた

だきたいと思います。恐らく会長が変わったので、全部を網羅したようなものを出されたのかと私は感じたのですけれど。副委員長。

○宇江田豊彦副委員長　これも毎年議会へ提出されている要望なのです。予算要望について、こういう事業をしているので、しっかりと庄原市に予算をつけてほしいというのが願いですが、実際は、具体的にどれだけ予算をつけてほしいとか、とりわけこの部分で予算をつけてほしいとかいうことがなかなか読み取りにくいのです。だから現状に合った形で執行者も予算づけを検討したいというぐらいのことしか言いようがないのではないかと思います。

○林高正委員長　庄原市と社協の関係というのは、密とえば密ですから、ここにも書いてあるけれど、支援関係機関としてということで、自分たちもそのように思われているみたいですから、読んでいただいて、こういう活動を社協がされているということを皆さんで共有したいと思います。では、これも供覧に付すでよろしゅうございますか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○林高正委員長　3点目、陳情第20号、国民健康保険料、税、後期高齢者医療保険料、介護保険料の減免実施を求める陳情書について協議したいと思います。31というページ数が振ってあるところです。これは、軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を、国民大運動広島県実行委員会から出されております。その次の21号、22号もそうですね。全て国民大運動広島県実行委員会から出されております。20号についての取り扱いはどのようにいたしましょうか。藤木委員。

○藤木百合子委員　この陳情書を出したときに私も参加させていただきました。毎年これも取り組んでいることです。ぜひこういったことを国に求めていただきたいという要望書と言うか、陳情書ということなのです。

○林高正委員長　坂本委員。

○坂本義明委員　これは供覧だけですよね。

○林高正委員長　はい。それで、その都度、事あるごとに何か意見書として出されるときにはそのような方向でやられていたのではないかと思います。では、陳情20号、供覧に付すでよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○林高正委員長　続いて21号、国の責任による30人以下学級をめざした少人数学級のさらなる前進を求める陳情書。これも藤木委員、同様の趣旨でございますね。

○藤木百合子委員　はい。

○林高正委員長　ですからこのような形で国へ求めていただきたいということでございます。こちらも同様に供覧に付す。続いて、陳情第22号、子どもの医療費助成制度の拡充を求める陳情書ということでございます。これは、県は、県独自の助成制度の拡充を行うことということで、県に対して意見書を提出いただきますよう、陳情いたしますということになっておりますが、こちらも同様に供覧に付すでよろしゅうございますか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○林高正委員長　では、陳情についてという5点については、情報共有しながら努力する方向で向かっていくのだけれど、これは、とめ置くという形、供覧に付すという形にさせていただきます。

2 所管事務調査について

○林高正委員長 2点目、所管事務調査についてでございます。現在の調査項目は、地域包括ケアシステムの構築について、教育条件整備について、学校適正規模・適正配置ほか、感染症対策について、本市の医療体制の現状と課題ということが現在の調査項目となっております。実は、口和郷土資料館がどういう状況になっているのか、決算のときにもお話がありましたので、一度、我々常任委員会として視察に行ってみたいと考えております。まず見てみないとわからないというのがありますので、調査項目に挙げたいと思うのですが、どういう文言にするのがいいのか、皆さんの御意見をいただきたいと思っております。副委員長。

○宇江田豊彦副委員長 口和郷土資料館だけではないかと思っておりますので、博物館、郷土資料館の状況について調査をするということではないのですか。

○林高正委員長 今、提案がありました、博物館・郷土資料館について調査をすると。では、そういうことで調査項目に挙げさせていただきたいと思っております。

3. その他

○林高正委員長 その他、事務局。

○丸飯龍太議会事務局主事 所管事務調査項目にあります、地域包括ケアシステムの構築について、福井県の名田庄診療所の視察について御報告があります。先日、診療所の中村先生とおおい町議会事務局に御挨拶を兼ねて連絡しまして、本日、おおい町の保健福祉室の担当者から受け入れの連絡がありました。来年1月27日木曜日の午後2時30分ごろから、2、3時間程度での視察とお伝えしております。本市の担当課である高齢者福祉課へ随同行の依頼をする予定としておりますので、高齢者福祉課長か主幹に随行していただくこととなります。視察の詳細な日程については、委員長・副委員長と調整しまして、また皆様に御提示できればと思っております。最後に、先方へは中村先生の取り組みや施設の案内をしていただきたい旨を伝えておりますが、あらかじめ委員の皆様から質問事項があれば、依頼書と一緒に郵送しようと思っておりますので、御検討いただければと思っております。以上です。

○林高正委員長 ただいま報告を受けたとおり、来年1月27日、1泊2日で福井県おおい町名田庄診療所の視察に伺います。また資料については別途お渡しますから、それをお読みいただいて、先ほど丸飯さんが言ったように、質問項目があったらまとめていただいて、彼に提出していただきたいと思っております。体調管理をして、みんなそろって行けるようにしていただきたいと思っております。その他、何か皆さんございますか。

○藤木百合子委員 郷土資料館の視察の日にちは決まりましたか。

○林高正委員長 12月16日です。

○丸飯龍太議会事務局主事 時間についてはいかがでしょうか。一応、朝9時から開いているようなのですが。

○林高正委員長 調整してください。

○丸飯龍太議会事務局主事 こちらで調整をします。

○林高正委員長 では、丸飯さんのほうで時間調整をして、また皆さんに連絡させていただきますので、よろしく願いいたします。その他、ないようでしたら本日の常任委員会はこれにて散会いたします。

午後1時12分 散 会

庄原市議会委員会条例第 30 条の規定により、ここに署名する。

教育民生常任委員会

委 員 長